

令和4年度

北広島市緑のまちづくり審議会

議事概要

北広島市企画財政部都市計画課

令和4年度北広島市緑のまちづくり審議会

日 時：令和4年8月30日（火） 15時25分～17時05分

場 所：北広島市役所 3階3D会議室

◇北広島市緑のまちづくり審議会委員

出席者 荒 井 委員
伊 藤 委員
金 子 委員（会長）
蕪 木 委員（職務代理者）
川 瀬 委員
清 水 委員
林 委員

欠席者 愛 甲 委員

◇事務局 笹 原 都市計画課長
中 尾 都市計画課主査
小八木 都市計画課主事

◇説明員 中 垣 ボールパーク施設課長
大 熊 ボールパーク施設課主査

◇傍聴者 なし

1 開 会

2 委嘱状の交付

3 部長挨拶

4 会長の選出

金子委員が互選。

5 会長挨拶

6 職務代理者の指定

会長が蕪木委員を指定。（異議なし、承認）

7 議事録署名委員の指名

8 意見交換

「北広島に求められる緑の景観」について

（審議会開始前に、市街地の緑、観光・交流・体験の緑、眺めの緑の3つの区分で、市内の緑景観の視察を行った）

A委員

- ・中央通の中央分離帯や街路樹が特に美しい。
- ・緑葉通の空きマスを対策してはどうか。
- ・富ヶ岡の森は、手つかずの森といった風情があって良い。
- ・旧島松駅通所の散策路で大きくなりすぎた木があり、管理が大変かと思う。
- ・三島周辺のキャンプ場のような、自然を生かした施設がさらに増えれば、景観が良くなるのでは。
- ・太陽光パネルが増えている。せめて道路から直接見えないような目隠し等あれば良いのでは。

B委員

- ・東京から来た友人が、北進通のプラタナス並木に感心していた。当たり前感じていた風景だったが、改めて守っていきたいと思った。
- ・北進通は雪解けの時期、ゴミが多くみられる。輪厚の方でも、不法投棄による大量のごみ問題となっている。改善していければ。
- ・北広島市の自然は、癒しの空間でもあり、子育てもしやすい。
- ・三島、島松は眺めの良い場所だと思った。
- ・富ヶ岡の森は、散歩してみたいと思った。
- ・輝美町からの景色が良い。
- ・夜景のきれいな場所も守っていけたらと思う。

C委員

- ・市街地の緑を見て、北広島市はきれいなまちだと改めて思った。

- ・自然の中にあるようなレストラン等が増えると良いなと思う。
- ・三島の稲作をしている田が、特に眺めが素晴らしいと思った。

D委員

- ・生息する生物を含めて景観という言い方もするが、今回は人からの見た目に重点を置いているようなので、景観の捉え方をまず整理してはどうか。
- ・評価の視点についても、同じく整理しては。
- ・季節によって見え方が違う点も考慮しては。
- ・旧島松駅通所のような場所は、歴史的な視点という評価軸もあり得る。
- ・北広島市の北の方に湿地がある。生物の多様性という観点、景観としても貴重な場所かと思うので、注目しても良いのでは。
- ・市民の方も知らない場所が多いと思ったので、周知の方法について考えてみては。

F委員

- ・団地地区の街路樹は、四季折々の風景がきれいだと感じる。住居の近くで見られることは貴重なのでは。
- ・花が少ないと感じる。増やしても良いのでは。
- ・旧島松駅通所の状態がきれいで驚いた。
- ・ミナファームやキャンプ場を見て、自然と触れ合う場所について興味を持った。
- ・北広島市は高低差が大きく、その分盆地にはない景色が見られる。

G委員

- ・市街地の緑は手入れされていることが重要だと思う。
- ・道幅が広いと、空が広く感じられ、緑も映えると思った。
- ・三島の風景が好きなので、ドライブを楽しみつつ、寄れるお店等あれば良いなと思う。
- ・竹山の景色は、現状道路等によってきれいに見えない。景色がよく見える場所があれば良いのでは。

H委員

- ・植樹された市街地の緑も美しいと思った。
- ・緑が思ったより多く驚いた。
- ・高い建物が少ないため、視線が遠くまでいく。
- ・花がもう少しあればと思う。
- ・体験、観光、交流の緑について身近に感じてもらえるような何かがあれば良いなと思った。
- ・あるがままの自然景観は美しいが、草刈り等の少しの手入れがされているとなお良いと思う。
- ・太陽光パネルのような人工物は、自然の中では目立ってしまう。自然に溶け込むような配慮があれば、調和して美しく見えるのでは。

事務局

- ・市街地の緑についての言及が多かったように思う。手入れされた緑はポイントの一つということか。
- ・景観において特に重要なものについて、皆さんはどのようにお考えか。

D委員

- ・手入れしていくことも大切だが、逆に自然のままの原風景も残していくことも大切なのは。

G委員

- ・北広島市には野幌原始林という原生的な森林があるにも関わらず、市民の認知度が低いように思う。

D委員

- ・野幌原始林は普段は入れないようにしつつ、年に1、2回公開イベント等行えばよいのでは。
- ・市街地周辺や林業としては、木の間伐といった手入れは必要だが、一方で手入れをしない場所を作ることで生物の多様性に繋がることもある。あえて手入れをしない場所があっても良いのでは。

G委員

- ・何かを採集できるといった、自然の豊かさを感じられる里山のような場所があってもよいのでは。

D委員

- ・近年は里山が減り、山菜取りに行く人の高齢化が進んでいると聞く。若い人が森に行って楽しめるようなプログラムがあるとよいのでは。

事務局

- ・手入れされた緑、ありのままの原風景、両方大切だと。また、触れ合えるような緑が求められているというお話だったように思う。このことについて他の委員は、どのようにお考えか。

H委員

- ・最近、野草コーディネーターの方に教えてもらい、野草の採取、調理を行った。見分けが楽しく、野草もすごく美味しい。そういった人が一緒に活動してくれることで、緑、自然を身近に感じながら楽しめるのでは。

F委員

キャンプ場といった自然と触れ合える場所が増えた。北広島市に緑があるからこそだと思う。

C委員

自然の中にレストラン等あると、行く途中にも自然が見られて良いと思う。

B委員

本州から来た人で、北海道の自然と触れ合いたいと思っている方は多いが、そういった人は富良野や美瑛まで行き、北広島市には立ち寄らない。北広島市は飲食店自体も少ない現状なので、三島のように自然の豊かな場所にレストラン等あれば、空港から近い好立地なこともあり、観光客を呼び込むきっかけになるのでは。

事務局

北海道の自然と触れ合えるというような場所が北広島市にあれば、空港から近いこともあり需要はありそう。市民、市外から来た人どちらからも触れ合えるような緑が求められているということか。

C委員

先ほどの意見のように、野幌原始林に年に1、2回入れるようなことになればすごいことだと思う。

D委員

- ・野幌原始林はもちろん、三島のように昔の面影が残る場所も全国的に珍しいと思う。電柱も少なく、街路樹が密に並ぶ、きれいな景観。
- ・室蘭市で行っているフットパスや、韓国のオルレのように歩いて回ることができるような企画があってもよいのでは。自然の中にあるレストランで食事をし、自然を楽しみつつ、歩くことで健康にもなれるような。
- ・北広島市にはさんぼまちという愛称の地域がある。これは良いキーワードだと思う。
- ・ボールパークをきっかけに多くの人を訪れるかと思うので、そういった人が、歩いて北広島市を回れるようにできれば良いのでは。
- ・さんぼまちプラスといった、団地地区からさらに範囲を広げた企画があっても良いのでは。
- ・地域の特産品が紹介されており、買い物を楽しめる散策路マップのようなものがあっても良いのでは。

事務局

手入れをした景観と原風景、どちらも大切にしていくことが重要だと。また、触れ合えるような緑に多く言及があり、これが北広島市の景観のテーマになると思ったが、いかがか。

D委員

どこで、どのように緑と触れ合うのかというビジョンを作ったほうが良いのでは。

事務局

触れ合えるような自然、緑を中心に、自然環境、空間、場面づくりや、そのための手入れや施策の検討なども行っていく必要があると。

G委員

触れ合う機会がないと緑の良さは実感できないので、子供も大人も緑に触れ合える機会を増やしていければ良いのでは。

D委員

最近では、落ち葉や日陰になるといった苦情に繋がることから、街路樹もどんどん植えればよいという話でもなくなっている。

A委員

木を切るといった維持管理も必要だと感じる。

団地地区は造成されて50年経つことから、大きくなりすぎた木も見られる。

D委員

- ・以前は緑と緑を結ぶ回廊を作り、生物の多様性を確保するべきといった話だったが、今はそれによって市街地まで熊や鹿が出てきてしまうことから、むしろ、動物の住む場所と人の住む場所は明確に分けるべきという意見もある。
- ・景観について、市民からは緑を減らすべきという意見が出ることも考慮すべき。
- ・ニセコでは、まち全体のランドデザインを住民主体で行っているが、数値的な目標の設定がないと具体化しにくいと感じる。特に太陽光パネルについて、どのくらいの面積まで良いとするかの線引きが至難。
- ・法律の問題もあり難しいところではあるが、景観という観点から先手を打って考えなければならぬと感じる。

事務局

- ・触れ合える緑について話してきたが、太陽光パネル等については、緑と調和するような配慮も求められるのではないかという意見だったかと思う。先ほども似た意見が出ていた。
- ・今回は人の目線から見た景観として、触れ合える緑について多くご意見をいただいた。触れ合うためには、市街地のような場所では手入れが必要であり、一方原風景として残していくべき部分もある。また、太陽光パネル等に関しては、緑に調和するように配慮するべきという意味を含む、広い意味での触れ合える緑と調和する緑が求められているということが今回の意見交換の中心となった。

これを踏まえて、北広島市に求められる景観というテーマについて、触れ合える緑、調和する緑という着地でよいか。

(異議なし、「北広島市に求められる緑の景観」をテーマにした意見交換終了)

9 報告案件

報告案件 緑の基本計画(第2次)の進行管理について

施策進行一覧表(資料1)、緑の基本計画施策の進行管理について(資料2)を用いて説明
(質問、意見なし)

10 その他

道道きたひろしま総合運動公園線の整備における環境保全を考える協議会について

(質問、意見なし)

11 閉会